これからのUBEビエンナーレを考えるワークショップ 2023 報告書 vol.2

WORKSHOP REPORT

UBE ピエンナーレの今後のあり方を考える市民とのワークショップを３回シリーズで実施します

主催：宇部市　協力：(株) フジワラボ・(株) POUF

UBE 宇部市 未来を彫刻するまち　UBE BIENNALE UBE International Sculpture Competition

第2回

2023.7.22 (土) 開催

テーマ：

課題の解決方法を探る

ワークショップのねらい

UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）は、令和３年に 60 周年を迎え、今では世界で最も歴史ある野外彫刻の国際コンクールに発展しています。しかし、全国的な知名度は高くなく、市民の認知度や理解もさまざまであるのが現状です。そこで、令和５年度に第３１回展からの方向性を示すビジョンを全３回の市民ワークショップの内容を踏まえ策定することとしました。

第２回目を開催しました

| 開催日時：2023 年 7 月 22 日　| 開催場所：宇部市役所
| 参加人数：35 人
| 主催：宇部市　企画・協力（株）フジワラボ・（株）POUF・日沼禎子

第 2 回目のワークショップ（以下 WS）は「これからの UBE ビエンナーレを考えるワークショップ」というテーマで、第１回 WS で出た課題と可能性に対する「提案」を市民の皆さんと一緒に検証し、発展させていきました。

計 36 枚のイラストの付いた「提案カード」を軸に議論を行いました。また、今回は女子美術大学から日沼禎子氏の学生の皆さんも参加し、宇部をよく知る方々と新鮮な目線を持った方々で議論が白熱し、たくさんのアイデアが集まりました。

実際に使われたカード

グループワークの様子

1 「提案カード」一枚一枚について藤原徹平氏から説明がありました。

2 参加者には、一人あたり５枚のシールが配られ、テーマごとに分かれた「提案カード」から良いと思ったものにシールを貼っていきました。

3 気になったテーマのテーブルに座って、グループごとに提案カードをより良くするアイデアや、新しい提案カードを出しながら、議論を行いました。

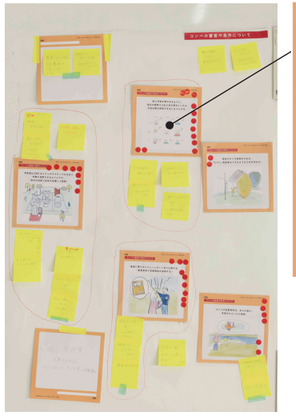
4 最後にそれぞれの班で出た意見をまとめを全体で発表しました。

たくさんのご参加・ご意見をいただきました。

グループワークで出た意見・アイデア

特に票が多かった意見をご紹介します！次回のワークショップではこの意見をふまえたまとめを行います。

コンペの審査や条件について

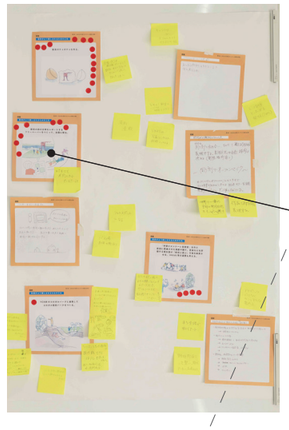


【上位2位は次回以降参加できないように】
- 登竜門としての位置づけに特化してほしい
- 彫刻専門じゃない審査員を入れる
- 海外アーティストが少ない！

UBE ビエンナーレの在り方（開催方法について）

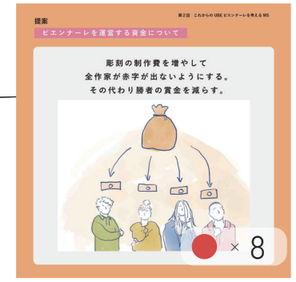
【結果発表を初日から最終日か中日へ】
- 市民票の発表を大々的にやりたい
- インフルエンサーなどを呼んで発信
- 一般投票もして最終日に発表

彫刻がより親しまれるための工夫



【フリーペーパーを作って全国に配る】
- 飛行機の機内誌、JRの車内誌へ展開
- 若い世代を対象にビジュアル重視で
- 「宇部＝彫刻のまち」であると宣伝する

ピエンナーレを運営する資金について



【賞金を減らして、制作費を増やす】
- 作家に赤字が出ないようにする
- 安い材料を使い儲ける人がいるのでは？

宇部市内外へのピエンナーレの広報

【ユニクロと提携する】
- Tシャツくらいなら、高くもないし買いやすい
- 柳井さんにスポンサーになってもらう
- グローバル企業とコラボできると、作家として名を売れるので良い
- 大賞作品をＴシャツ化

彫刻教育

【海外美大生向けのサマースクール】
- 参加した学生が教育をサポートする
- 宇部市が蓄積している彫刻修復の技術を彫刻学生に教える

次回のご案内

これからのUBEビエンナーレを考えるワークショップ 2023

第3回　テーマ：ありたい姿を考える

2023.9.2 (土)

10:00-12:00

第１回目・２回目に参加していない方・まだ応募していない方でも参加可能です。ぜひとも参加いただきご意見をお聞かせください。

場所：ときわ 湖水ホール　　参加費：無料
参加条件：どなたでも　定員：なし
お申し込み・問い合わせ先：観光スポーツ文化部 文化振興課 UBEビエンナーレ推進係
TEL：0836-34-8562
Email：museum@city.ube.yamaguchi.jp
URL：https://ubebiennale.com/